

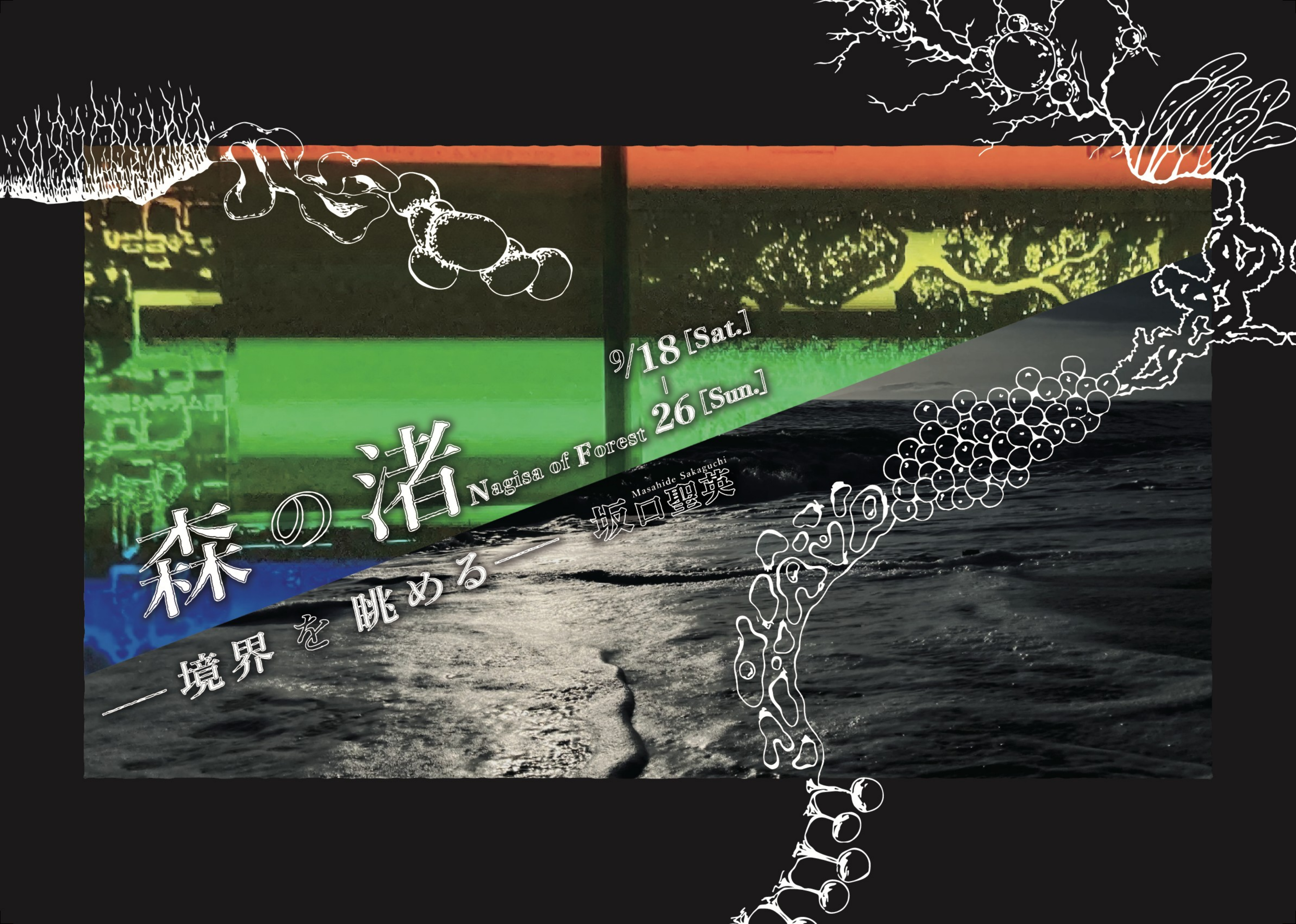
森の渚

Nagisa of Forest

9/18 [Sat.]
|
26 [Sun.]

Masahide Sakaguchi
坂口聖英

—境界を眺める—



森の渚 Nagisa of Forest

— 境界を眺める —

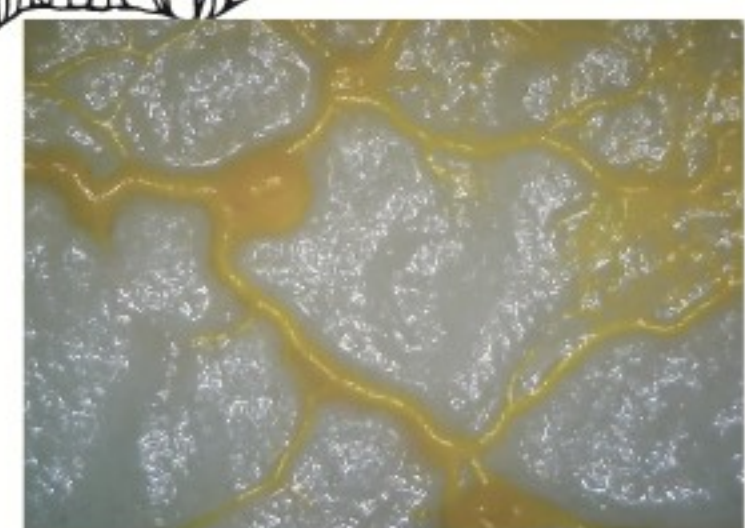
『森の渚』では坂口聖英により制作された映像作品の中から、とくに自然や生物を題材にしたインタラクティブアートを中心に紹介します。展示する作品は「粘菌」や「渚」など境界を象徴するものをテーマにしたものばかりです。

境界という単語を聞いたときに私たちが思い浮かべるイメージはどんなものでしょうか、明確に引かれた線のイメージでしょうか、強固な壁かもしれません。しかし自然のなかにある境界を眺めていると、それらが本来流動的で、常に形を変えながら存在し、異なるもの同士をつなぐ役割を果たしているものであることがわかります。

本展示では「彫り人」ミマチアカリをゲストアーティストとして迎え、さまざまな視点から境界を眺め、観察することができるような場を表現します。



ARTISTS PROFILE

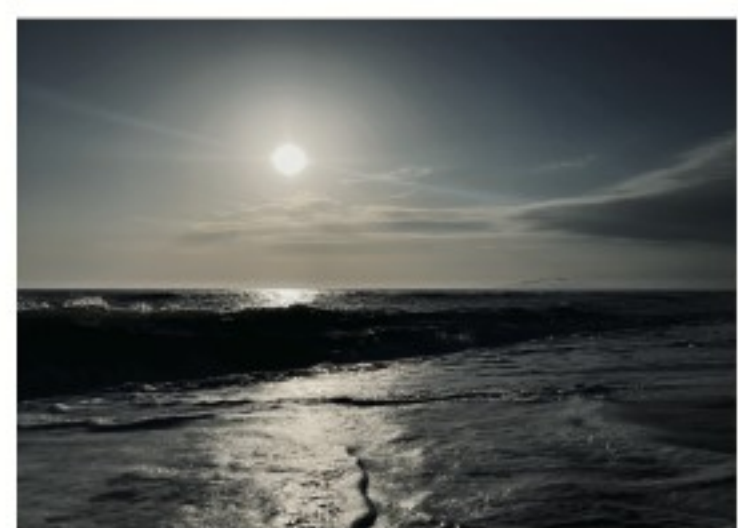


《Communitas》

坂口聖英

| 2020 |

インタラクティブアート



《境界を眺める》

坂口聖英

| 2021 |

インタラクティブアート



《存の現象》

ミマチアカリ

| 2021 |

インスタレーション



《八木沢》

ミマチアカリ

| 2019 |

インスタレーション

坂口聖英 / Masahide SAKAGUCHI

1997年生まれ、長野県長野市出身。立命館大学映像学部卒業後、2021年4月より秋田公立美術大学複合芸術研究科に在籍。大学在学中よりインタラクティブアートの制作を行う。2019年より参加している『演劇×ゲームプロジェクト』は第二回京都デジタルアミューズメントアワードにて「ゲーム・インタラクティブ部門賞」と「東映賞」を獲得。また2021年2月には第一回ARTAOTAにおいて自身初のバイオアート作品がセレクションに入選。

↓chimen376↓



ミマチアカリ / Akari MIMACHI

1998年生まれ、奈良県出身、現在は茨城県在住。2021年秋田公立美術大学アーツ&ルーツ専攻卒業。木や自然物に顔の表情を彫り、ある特定の場所に置き続けることで、「無形の存」(物質的な実体を持たない何者かの気配・オーラ・生命そのものの様な存在)やその周囲を取り巻いているものとの対話/関係性の構築を試み、身体で考えようとしている。2021年「秋田公立美術大学卒業・修了展へば、」ではAAB秋田朝日放送特別賞を受賞。同じく2021年には個展「存の現象」を開催。

↓mmcacr1126↓



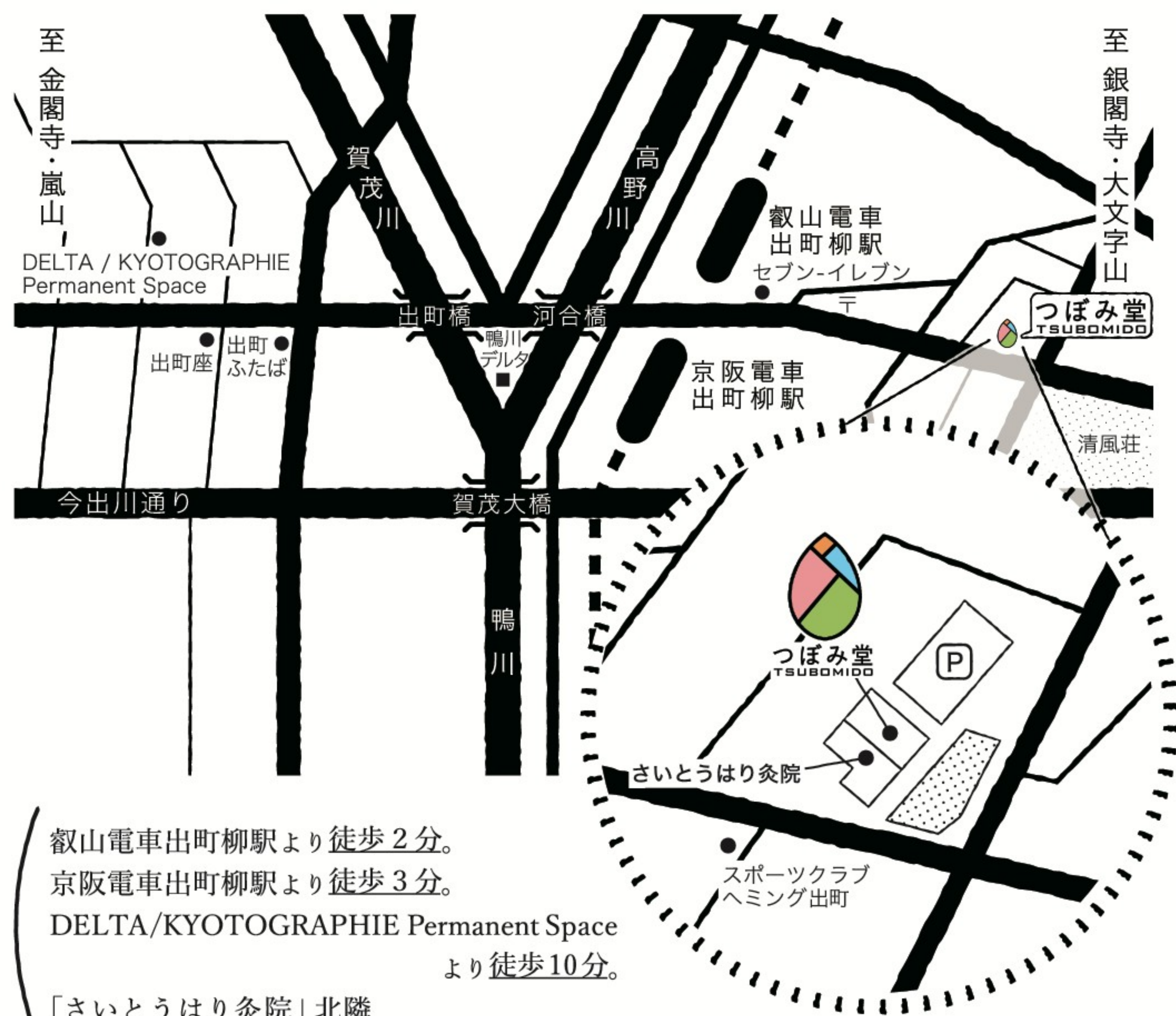
日時 | 2021/9/18 - 9/26 11:00-18:00
[Sat.] / [Sun.] * Closed / Wed. & Thu.

料金 | 入場無料
-Admission Free-

会場 | つぼみ堂 TSUBOMIDO
〒606-8205 京都府京都市左京区田中上柳町90



MAP/ACCESS



叡山電車出町柳駅より徒歩2分。
京阪電車出町柳駅より徒歩3分。
DELTA/KYOTOGRAPHIE Permanent Space
より徒歩10分。
「さいとうはり灸院」北隣

◆お願い: ご来廊にあたって以下の点にご留意ください。

- ・新型コロナウイルスの感染拡大状況により、展覧会の開催や内容が変更になる場合がございます。
- ・発熱、咳等の症状がある方はご来廊をお控えください。また、無理なご来廊はくれぐれもお控えください。
- ・ご来廊の際はマスク着用、検温、手指消毒のご協力をお願いします。
- ・密を避けるため、入場制限をさせていただく場合がございますのでご了承ください。

